

地球惑星科学委員会・地球惑星科学人材育成分科会・地学・地理学初等中等教育検討小委員会
(第24期・第1回) 議事録

議事次第

日時：平成30年6月28日(木) 16:15~18:00

会場：日本学術会議5階5-C(2) 会議室

【出席】(敬称略) 小口・北里・西・川辺・高木・畠山・久田・宮嶋
木村(オブザーバー)

【欠席】(敬称略) 大路

議題等

1. 役員(委員長、副幹事)の選出
委員長：西 弘嗣, 副委員長：小口 高, 幹事：川辺文久 を選出した。
2. 小委員会の構成とタスク、今期目標
本小委員会のタスクを確認した。今期目標は提言の作成を行うことを目指す。今後、地理関係の委員の追加(小口先生担当)と地学関係の委員の追加(jpGUの市川先生など)の可能性はある。
3. 提言の構成と役割分担
提言内容の骨格および各担当の素案を議論した。素案は以下のとおり。

第1章 初等中等教育における地学・地理教育の重要性(北里)

地理・地学教育の必要性：以前の記録である地球に生きる素養を身につけよう「地球が好きになる教育の勧め」を参考にする。

第2章 地理・地学教育の現状(高木, 久田, 畠山, 宮嶋)

●履修状況(教科書数、センター入試受験者数)

履修状況に関しては、内外教育のデータを基にして推定するのが適当である。これに宮嶋委員, 高木委員, 久田委員, 畠山委員等の収集したデータを加味して分析する。そのとき、提言「これからの理科教育のあり方」に使用されているデータも参考とする。

●教員採用数(試験受講生数、教員数)

提言に使用できる調査データを収集するのが極めて困難である。この章の記述は以下の案が出された。

- ・ 埼玉, 千葉, 茨城など調査の進んでいる県のデータを記述する。
- ・ 他の県ではデータが出ない(あるいはない)ことの問題点を記述する。

●中学校理科第二分野(地学領域)及び社会科(地理領域)、並びに高等学校理科(地学領域)及び地理歴史科(地理領域)に関する記述(未定)

第3章 新しい学習指導要領に伴う必要性(西, 川辺)

第4章 社会における地理・地学のリテラシー(北里)

第5章 提言

但し、提言に関しては第1~4章の内容に対応した提言を考えることにする。

5. 今後の進め方

本年度末までに提言の粗稿の完成を目指す。最初に提言の骨針の前半部の作成を行う。次回は9月18～21日頃の期間に予定。それまでに各担当がまとめを作成することを目指す。

6. その他